

すこやかほ～む有住2階

地域密着型サービス自己評価票（網掛け部分は外部評価も行う調査項目） 取り組んでいきたい項目には「1」が入っています。

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
			理念に基づく運営 1～5 (自己 1～24・外部 1～14)	自己評価24項目・外部評価14項目	10		
理念に基づく運営	1		理念の共有(自己 1～3・外部 1～2)	自己評価3項目・外部評価2項目	0		
		1 外部 評価 1	地域密着型サービスとしての理念【外部評価】 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ご入居者中心の生活援助を基盤にした分かりやすく覚えやすい理念をきっかけ、その理念の下に職員が職務を遂行できている。	0		
		2 外部 評価 2	理念の共有と日々の取り組み【外部評価】 管理者と職員は、理念を共有し理念の実践に向けて日々取り組んでいる	共に悩み喜びながら、理念の実践に向けて取り組んでいる。	0		
		3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	まず近しいご家族から地域へと広がるよう、取り組んでいる。	0		
		2	2 地域との 支え合い	2 地域との支え合い(自己 4～6・外部 3)	自己評価3項目・外部評価1項目	3	
		4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自然に努めることができしており、日頃利用するスーパーや隣近所に対しては友好的なイメージを持たれているようである。	1	地域の中での認知度と活動を広め、認知症の方に対する理解を深める努力が必要。	
	5 外部 評価 3	地域とのつきあい【外部評価・重点】 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	ダンボールなど資源ごみの回収を協力している。	1	ホームでの行事イベントの紹介など広報活動に取り組みたい。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	2 支 地 域 と い の	6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	実施不十分である。	1	今後の話し合いの中で取り組んでいく。
		3	理念を実践するための制度の理解と活用(自己 7~11・外部 4~7)	自己評価5項目・外部評価4項目	4	
	3 理 念 を 実 践 す る た め の 制 度 の 理 解 と 活 用	7 外 部 評 価 4	評価の意義の理解と活用【外部評価・重点】 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	それぞれが自己評価・外部評価の意義を理解し、日々の支援にあたるよう努めている。	1	評価の結果を参考に、良いところ、足りないところを認識し、より良いホーム作りを皆で実施していきたい。
		8 外 部 評 価 5	運営推進会議を活かした取り組み【外部評価・重点】 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	やさしいみんなのノートの記入、取り組みを行うようになった。	1	施設便りの発行を定期的実施したい。
		9 外 部 評 価 6	市町村との連携【外部評価・重点】 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市役所の窓口にて届出の際などに相談や報告をする程度であり、市町村との具体的な取り組みには至っていない。	1	ネットワーク作りと地域に根ざした活動が課題である。
		10 外 部 評 価 7	権利擁護に関する制度の理解と活用【外部評価・追加】 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者・ケアマネージャーは実施できている。	1	全職員が理解できるように会議の場で勉強に取り組みたい。
		11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	会議の中で社内研修として取り組んでいる。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
		4	理念を実践するための体制(自己 12~18・外部 8~10)	自己評価7項目・外部評価3項目	1	
理念に基づく運営	理念を 実践 する ため の 体制	12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	できている。	0	
		13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	本人との話の中で、また家族には家族会、面会や電話の際どんなことでも聞き出し、話し合い改善策を検討し実施している。	0	
		14	家族等への報告【外部評価・重点】 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	その都度報告している。家族の面会時には職員から声をかけてコミュニケーションをとり、信頼関係を保つよう指導している。誕生会や行事には参加の呼びかけを行っている。	0	
		15	運営に関する家族等意見の反映【外部評価・重点】 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年2回家族会を行い、ご家族・運営者・管理者及び職員が顔を揃えて話し合う機会を設け、その内容を運営に反映できるよう努めている。	0	
		16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1度の全体会議をはじめ、個人的にも管理者と職員が話し合いをする機会を持っている。	0	
		17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	運営者と連携を取り、適切なサービスが提供できる体制作りや勤務の調整に努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
理念に基づく運営	4	18	職員の異動等による影響への配慮【外部評価】 運営者は利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	配慮している。	1	運営面、職場内環境面において職員皆で協議しながらより良い職場づくりを目指す。
	5	人材の育成と支援(自己 19~24・外部 11~14)		自己評価6項目・外部評価4項目	2	
	5	19	人権の尊重【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を發揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	配慮している。	0	
		20	人権教育・啓発活動【外部評価・追加】 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	入居者が主役であり、入居者の家に我々職員がお手伝いに来ているイメージを持つことが理念につながっている。人権尊重と接遇などにおいて、社内研修を通じて取り組んでいる。	0	
		21	職員を育てる取り組み【外部評価】 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員が希望する研修、会社が指定する研修など、外部研修に参加してもらい、会議の際に発表などを行っている。業務マニュアルはあるが、職員個人の能力や先輩のその都度の指導能力に頼る所が大きい。職務をマスターする為のトレーニングについては、システム化されていないのが実情である。	1	今後は、新人・ベテラン共に働きやすいように、段階を踏んで計画的に教育・指導するための無理のない育成計画やマニュアル作りが必要と思われる。
		22	同業者との交流を通じた向上【外部評価】 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	早良区の「ケアネットさわら」に参加している。広報活動の一環として、地域の同業者・医療施設などのネットワークが広がってきたが、サービスの質の向上を目的とした交流はまだ不十分と思われる。	1	ネットワークを広げ、交流を通じて刺激を受け、勉強して当ホームのサービスに還元したい。
		23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	ストレスマネジメント、アサーション・トレーニングなどのテーマを社内研修に盛り込み、ストレス軽減、円滑な人間関係の維持に努めている。介護ストレスについては、十分な休養を取れる職場の環境づくり、運営体制の改善について取り組み、職員が健康で生き生きと長く働けるよう努めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
	5 と人材 支援の 育成	24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	何でも話し合える環境を作り、運営者と職員が全体会議などで直接話し合う機会を持つようにしている。	0	
安心と信頼に向けた関係作りと支援 1～2(自己 25～34・外部 15～16)				自己評価10項目・外部評価2項目	3	
安心と信頼に向けた関係作りと支援	1	相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 (自己 25～28・外部 15)		自己評価4項目・外部評価1項目	0	
	1	25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人が不安な事、困っている事などを本人から傾聴する機会を作る様に努めている。	0	
		26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	随時相談を受け、相談時から家族の話を十分に聞き、悩みを受け止める様努めている。また、こちらからその後の成り行きについてお伺いする事もある。	0	
		27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメント結果の把握と情報共有を行い、当施設以外にも他施設や地域包括支援センターなどの紹介、資料をお渡しするなど努め、対応ができています。本人と家族にとって今一番良い方法を見出すお手伝いが出来る様心がけている。	0	
		28	馴染みながらのサービス利用【外部評価】 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	体験入居を実施している。その際、施設案内、ユニットごとの紹介や職員・入居者の自己紹介を行っている。	0	
		29	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 (自己評価 29～34・外部評価 16)		自己評価6項目・外部評価1項目	3
	29	本人と共に過ごし支えあう関係【外部評価】 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	週1回のサービス担当者会議にて検討し、個別レクの充実に取り組んでいる。傾聴し、寄り添う介護の実践を意識して努めている。入居者が先生となり生徒となり話をしたり、また手作りのおやつや飾り付けをつくり、楽しく過ごしている。掃除も楽しく協働できている。料理・畑作りなど本人様から学ぶことも多い。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係作りと支援	新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	来設の際、ご家族の労をねぎらい、話を聞くようにしている。家族と共に目標を達成していけるよう努めている。医療も含めてそれぞれが提案をして、家族と一緒に解決する姿勢でいる。	1	年に数回の行事参加を呼びかけ、一緒に楽しむ機会をより多く持ってもらおうよう努める。
		31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	相互に情報の提供を行い、お互い喜べるように、職員が間に入り良い関係を保つよう努め、時にはトラブルの解決に努める。	1	写真を渡したり、毎日の過ごし方についての連絡・相談をまめにする。ご家族訪問時は近況報告をすると共に日頃の疑問に対する情報収集や相談をすることで関係づくりに努める。
		32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	ご家族との報告・連絡を密にする。面会・外出泊・外食などフリーにできるよう支援している。ご本人に昔話を聞かせて頂いたり、本や写真を見せて頂いたりしてなじみの人を忘れないようにしている。本人の知人・友人の面会時は歓迎し、訪問しやすい雰囲気づくりに努めている。	0	
		33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	個別・グループレク・お話の日など積極的に取り組み、その効果が現れている。入居者の人間関係を把握し、トラブルのない様意識しながら、個人、友人、グループでの交流を支援している。1階と2階の入居者同士の交流も実施していて、気分転換になっている。全員対象のレクの際には全員に声かけを行い、意思決定をしてもらう。	1	入居者同士の人間関係を良好に保つ為に、時間をかけて関わり、お互いへのフォローを忘れず対応する。
		34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	ご連絡があった場合、また町で偶然会った際などご挨拶をしている。退居後も入院されたなどの情報があればご連絡することがある。転居先のホームにご様子を伺うこともある。常にいつも携わった方には関係を切らない姿勢でいる。	0	
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント 1～4 (自己 35～51・外部 17～22)				自己評価 17項目・外部評価 6項目	6	
1 一人ひとりの把握(自己 35～37・外部 17)				自己評価 3項目・外部評価 1項目	0	
1	35	思いや意向の把握【外部評価】 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	個別レク、担当職員の配置にて月単位での目標を立て評価を行っている。日頃から職員間での情報交換により共有を目指し、困難な場合はケアカンファレンス等で話し合うようにしている。	0		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	1 一人ひとりの把握	36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメント・サマリーを入居後の生活に活かしている。基本調査に基づき、ご本人・ご家族双方からの情報収集に努めている。室内の配置、好みのもに配慮している。	0	
		37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	担当職員の配置と日頃の観察にて情報の共有に努めている。申し送りノートの活用、随時職員同士で話し合いを行うなど実施している。普段の本人の行動や状態を観察し、そこから得た情報を大切にしている。	0	
	2	本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し (自己 38~40・外部 18~19)	自己評価 3 項目・外部評価 2 項目	2		
	2 介護計画の作成と見直し 本人がより良く暮らし続けるための	38 外部評価 18	チームでつくる利用者本位の介護計画【外部評価】 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	週に1回のサービス担当者会議の実施、記録、プランの更新についてのリスト作成、また3ヶ月に1度のプランの見直しを行い、随時見直しが必要な方にはカンファレンスを実施するようにしている。職員は、自分たちが協議して作成した計画書の内容を把握し実施するよう努めている。本人や家族にも相談し介護計画を作成している。	1	主治医の協力を得て、医療を含めたカンファレンスができるように努めたい。出来る限り本人のニーズを中心に据えながら、家族の思いにも耳を傾けていきたい。
		39 外部評価 19	現状に即した介護計画の見直し【外部評価】 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的見直しに加え、月ごとのモニタリングを行い、変化を見逃さない様にしている。月2回の主治医の定期往診、不定期の協力病院からの看護師来所を依頼している。また、介護計画にもその内容を反映させている。病状把握・家族への報告連絡相談を徹底させている。また、家族からの要望も取り入れるようにしている。	0	
		40	個別の記録と実践への反映 日々様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	できている。記録だけでなく重要な情報共有には必ず口頭でも伝えるようにしている。毎朝の申し送り時だけでなく、遅出・夜勤入りの職員が来たときにも必ず記録と口頭で情報を伝える。毎日個別ケア実施の確認をつけている。	1	小さな変化や気づき、きっかけを読み取れる記録を心がける。また、記録のつけ方を統一し、簡潔に分かりやすく記録できるよう努める。
	3	多機能を活かした柔軟な支援(自己 41・外部 20)	自己評価 1 項目・外部評価 1 項目	0		
	3 柔軟な支援	41 外部評価 20	事業所の多機能性を活かした支援【外部評価】 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	できている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4		本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働 (自己 42~51・外部 21~22)	自己評価10項目・外部評価2項目	4	
		42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	入居者と公民館を利用し、イベント時の物品貸し出しを依頼している。警察・消防にはご挨拶に伺い、協力を依頼している。学生・一般・芸能ボランティアなど複数のボランティアが来られている。	1	月1回は行事として定期的にボランティアの方に来ていただき、入居者の方楽しんで頂きたい。地域や社会との関係も大切にしていきたい。
	4	43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話しあい、他のサービスを利用するための支援をしている	必要に応じて歯科・眼科の往診、整形外科の送迎付き受診ができる。	1	多様なニーズに応えられるようになれば、入居者の選択肢が広がり、満足度も上がる。
		44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	情報交換はできる環境にあるが、協働はできていない。	1	運営推進会議を通じて、協働ができるように働きかけていきたい。
		45	かかりつけ医の受診支援【外部評価】 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人・家族の希望を大切にし主治医より適切な医療を受けられるように支援している。	0	
		46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	必要に応じて支援している。	0	
		47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	かかりつけ病院の看護師と相談しながら日常の健康管理の支援をしている。必要に応じて医療処置などで来所して頂いている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	4	48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	病院関係者との情報交換や相談に努めている。	0	
		49 外部 評価 22	重度化や終末期に向けた方針の共有【外部評価】 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	現在対象者がいないことから、具体的な話し合いは行っていないが、契約時や家族会にて家族に説明を行うようにしている。	1	医療を含めて方針を決定・共有し、準備をしていきたい。またご入居者それぞれのご家族と個別に終末期に向けての話し合いを持つようにしたい。
		50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医等とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	変化があった場合すぐに連絡できるように準備している。	0	
		51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	実施できている。	0	
		その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1～2 (自己 52～89・外部 23～33)				自己評価38項目・外部評価11項目
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1	その人らしい暮らしの支援 (1)～(5) (自己 52～81・外部 23～30)		自己評価30項目・外部評価9項目	12	
		(1) 一人ひとり尊重(自己 52～54・外部 23～24)	自己評価3項目・外部評価2項目	2		
		52 外部 評価 23	プライバシーの確保の徹底【外部評価】 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いは慎重に行っている。記録では個人が特定できない様配慮している。また、日頃の言葉かけや介護については相手の人格を尊重し敬意を持って対応する様努めている。トイレ介助の時などは、その場で言うのではなく、小声で伝えたり居室に誘導して伝えている。	0	
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	相手の状態に合わせ、分かりやすい説明を心がける。本人がどうしたいのかを聞き決定権を与える。自立援助を基本に、本人が希望される事はできるだけして差し上げる。納得されてから実施する。	1	相手が思いを伝えやすいような言葉かけの工夫。また、単に「はい」で答えられるだけの言葉かけではなく考えてもらうような問いかけの工夫。		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	54 外部評価 24	日々のその人らしい暮らし【外部評価】 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入居者の生活のペースや気持ちを尊重し、臨機応変な対応を心がけている。ゆっくり話を聞いたり、声かけなど行い何をしたいか聞き実行する。本人がより良く暮らせることを一番に考え、希望にそって支援している。	1	個別ケアの充実が期待できるところである。
		(2)	その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援 (自己 55～60・外部 25～26)	自己評価 6 項目・外部評価 2 項目	1	
		55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	月単位にて髪を切ったり染めたりする。(理容室の方が来所)髪や衣服など、身だしなみができるよう支援している。その人の納得いかれるおしゃれを尊重している。	0	
		56 外部評価 25	食事を楽しむことのできる支援【外部評価】 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の好みや量を把握し、自前の箸など活用し提供している。準備・片付けに関しては自主的にされない場合その時の気分で違うので意向を聞いて行っている。後片付け・トレイ拭き・台拭きなど出来ることを日常的に行っている。職員と一緒に食事をしている。	1	食に対する楽しみがもっと感じられる工夫。
		57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲み物は種類を揃え、日々色々な味を楽しんだり、こだわりの飲み物を提供している。夜間は自前の水筒やペットボトル・コップに白湯やお茶を準備する。毎週日曜日には手作りのおやつを一緒に作ったりする。行事の際にはご本人・ご家族・職員が一緒になってお酒を楽しむ。	0	
		58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄介助はサインを見逃さず臨機応変に失敗しないように支援し、入居者ができるだけ不快なく気持ちよく排泄できるよう職員の意識付けができています。排泄パターンを把握できるよう話し合い、記録をつけ、ナースコールやセンサーも活用している。	0	
		59 外部評価 26	入浴を楽しむことができる支援【外部評価】 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴する人が気持ちよく入浴できるよう配慮して実施できている。一人に対して30分程度の枠を設け、ゆっくりコミュニケーションをとりながら実施する。自立援助を行い、洗い足りないところはサポートする。混乱なく、規則正しく平等に入浴できるように、曜日と時間を決めている。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	昼間、居室でくつろぎたい方は、ゆっくりしていただき、メリハリをきかせて交流やレク参加を促している。昼間の活動量を十分に取って安眠を促す。巡視時・随時の安否確認を行い、環境整備を意識して努めている。	0	
		(3)	その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援 (自己 61~66・外部 27~28)	自己評価6項目・外部評価2項目	3	
		61 外部評価 27	役割、楽しみごと、気晴らしの支援【外部評価】 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	それぞれに応じた役割・楽しみを持てる様、生活歴や現状の把握に努めている。洗濯物の取り込み・たたみ・配り、食後の後片付け・トレイ拭き・台拭き、脳トレ、昔のことなどを思い出し、皆で話したり、散歩・買い物同行など実施している。趣味活動を援助し、レクリエーション・体操・自主的な運動によって生活に張りを持たれて	1	一日一日、本人の満足を得られるような楽しみを探りながら、今後も色々試していきたい。回想法も取り入れ、職員にも昔の事を教えて頂きたい。入居者個人個人に少しずつ役割が持ててきたので、より充実感を得られるよう支援していきたい。外出・外食や1階入居者との交流の機会を増やし、大きなイベントは合同で行う。
		62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物同行時、品物を買った時レジで支払いをしてもらう。医療費など自分で支払える方には支払ってもらう。お金を管理できる方は個人で管理してもらい、できない方は管理者が責任を持って管理している。	0	
		63 外部評価 28	日常的な外出支援【外部評価】 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天気の良い時の散歩や買い物同行をする。外出や買い物をしたいと希望される時、スタッフ同行で行う。外出レクにてショッピングや外食を楽しんでいる。	0	
		64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	時々ドライブや外出、外食などで気分転換が図れている。	1	職員間でアイデアを出し合って、外出、外食の機会を増やして楽しんで頂きたい。
		65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人の希望に応じ、また落ち着かない時、不安な時など家族への電話の支援をしている。手紙を出したい方にもお手伝いをしながら支援している。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるように工夫している	訪問時は明るい挨拶・対応で歓迎し、訪問しやすい雰囲気づくりをしている。職員は日頃の様子をお伝えするなど気軽にお話ができる環境づくりに努めている。	1	めったに来所されないお客様に関しては、出来るだけ長く居て頂くよう配慮する。時間の余裕のある方にはお茶を出し職員も一緒に話をするなどご本人の社会生活を大切にする。行事など周囲が参加できる企画を増やし、ホームの内容を広く知ってもらう。	
		(4) 安心と安全を支える支援(自己 67~74・外部 29~30)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	4	
		67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	社内研修にて勉強を行い、意識を高めることができています。現在は具体的な拘束の例はない。本人の立場に立って考えるようにしている。	0		
		68 外部評価 29	鍵をかけないケアの実践【外部評価】 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	職員は鍵をかけないケアの重要性を理解しており、夜間以外は施錠していない。	0		
		69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在確認・安否確認や、居室の中におられる時、声かけしたりする。	1	職員同士で入居者の所在を確認し合うことで、事故を未然に防ぐよう意識を高める。	
		70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じた、危険を防ぐ取り組みをしている	その時の状況により、ベッドの位置やタンスの位置を移動したりする。包丁など危険なものの取り扱いについて、十分な見守りと管理（確認と記録）を行っている。一人一人の状態を考え、危険を防ぐ取り組みをしている。	0		
		71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	申し送りや会議の時に、その都度話し合いをしている。ヒヤリハット・事故報告書の統計を取り対策を立て実施している。	1	「これでよし」と思わずに、前例を活かした取り組みや、事故を未然に防ぐアイデアを出し合い、職員全員で取り組んでいく必要がある。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	定時・随時のバイタルチェックで早めの主治医報告を徹底させている。個人個人の病歴や出やすい症状を頭に入れ、対応できるように取り組んでいる。救急搬送先の確認を行い、緊急時対応マニュアルを活用している。	1	まず主治医への報告が基本だが、個人個人の医療指示や薬の使用などを簡素化したマニュアルを作成し活用したい。
		73 外部評価 30	災害対策【外部評価】 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	申し送りや会議の時に、どのように実行するか話し合っている。災害時の為に、地域の人々の協力を働きかけるまでには至っていない。	0	消防訓練・イベントや日頃の交流の中で認知度を高め、協力を得られるよう努めたい。
		74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	入居時や入居後危険を感じた場合には、その都度説明と話し合いを行い、家族にも理解してもらい、対応策を考え実施している。転倒などの時や、現在の様子などはその都度家族に報告している。ヒヤリハット・事故報告書を活用している。	1	リスクは今後増えていくと思われるので、職員の意識と事前・事後対応能力を高めることが求められる。
		(5)	その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援 (自己 75～81・外部 31)	自己評価 7 項目・外部評価 1 項目	2	
		75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	いつもと違う様子、少しの変化でもスタッフ間で情報を共有し、ケアマネジャー・管理者に報告・相談し受診などを行っている。また、主治医に報告し指示を仰ぎ早期の対応を意識付けている。毎日のバイタルチェックや生活の変化に注意して対応している。	1	医療との連携強化。
		76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬作り、セットする職員、服薬前の名前確認、服薬確認など担当を分け、常にミスのないよう気をつけている。服薬担当者はケース記録に名前をサインする。個人別の薬保管棚を使用している。	1	薬についての知識と理解を深めたい。
		77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	運動や水分補給、散歩、腹部マッサージ、お腹を温めるなどを実施するとともに、生活リズムの安定に努めている。また排泄表を活用している。朝のバイタルチェック時、排泄の確認を行い、記録につけている。ヨーグルト・バナナ他の提供など適宜おやつ時の工夫も行っている。定時のお茶の時間や入浴前後に補水する。	0	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで きたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	1 その人らしい暮らしの支援	78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	モーニングケア、食事後の口腔ケアの実行、トラブルがあった際には歯科往診・受診をしている。一人一人に合った方法で実施している。義歯洗浄剤・イソジンうがい液など活用している。	0		
		79	栄養摂取や水分確保の支援【外部評価】 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	そのときに応じて、主食の量を加減して対応している。水分摂取量の記録をとり、水分摂取が足りない方には数回に分けて、また飲み物の種類を変えて提供する。噛みにくい方、飲み込みにくい方、発熱・下痢など状態の悪い方には刻み食・お粥を提供し、とろみ剤なども使用している。好み・食形態・提供量を把握し一覧にしている。	0		
		80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	うがい、手洗い、マスク着用を実行。また感染症に対する内部・外部研修を実施し職員の意識付けを行うとともに掲示物を活用している。ご来客にも協力を依頼している。インフルエンザの予防接種・血液検査など主治医に依頼している。清潔を第一に意識付けを行っている。入浴時の皮膚状態観察の徹底にてトラブルを早期発見する。	0		
		81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	1日の終わりに用具の消毒を行い、食器類は必ずその都度乾燥機で十分に乾かすよう徹底している。職員は1行為1手洗いを心がけている。アルコール・消毒液を使用し、食材には必ず加熱する。作った物は2時間以内で処分する。	0		
	2	その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)~(2) (自己 82~89・外部 32~33)			自己評価 8項目・外部評価 2項目	3	
	2	(1) 居心地のよい環境づくり(自己 82~86・外部 32~33)			自己評価 5項目・外部評価 2項目	2	
	2 生活環境づくり その人らしい暮らしを支える	82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	植木を植えたり、畑を作り実行している。必要に応じてテーブルや椅子を配置する。玄関には季節ごとのディスプレイ、くつべら、アルコール消毒液などを置いている。	1	自宅の玄関は家の顔であり、お客様をお迎えする最初の入り口のため、建物周囲を含め、皆が親しみやすく、掃除の行き届いた環境づくりに努めなければならない。	
		83	居心地のよい共用空間づくり【外部評価】 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自然光が入るようにカーテンを開けたり、電気の調整をしたり、季節のものを取り入れ壁に貼ったりしている。また清潔を保つことを意識して努めている。ご入居者が好きな時間に見たり聞いたりできるビデオ・CD・カセットを準備し、提供している。	1	各居室の掲示板を活用しながら季節感を出す。入居者参加での作品づくりに取り組んでいる。	

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)	
その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	2 その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	共用部にソファを置いたりして和みのスペース作りを心がけている。それぞれの空間で談話されたり体操されたりしている。各居室に入居者同士で招待して談話されたりしている。季節に合ったディスプレイをご入居者と共につくり、共用空間にも配置している。	0		
		85 外部評価 33	居心地よく過ごせる居室の配慮【外部評価】 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自分が今まで使っていたなじみの物(タンス・椅子・洋服)を持ってきて使用されている方もおられるが、新しく買われる方が多い。コップ・箸・バッグ・なじみのある写真・本など小道具を活用している。	0		
		86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	日中を通して居室の窓を開けたりベランダ・テラスを開放し、また換気扇やエアコンを活用して換気・空調には十分配慮している。職員は体感温度をいつも気にして調整をするよう気をつけている。風呂場・脱衣所にも配慮し、暖房器具など使用している。	0		
		(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり(自己 87~89)			自己評価3項目	1	
		87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーにて対応している。手すり・滑り止めマットなど活用している。廊下は広く移動がしやすい造りとなっている。	1	必要に応じて、その人に合った福祉用具の活用と導入時期の適切な判断ができるよう職員のスキルアップが求められる。	
		88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	居室の家具配置などに配慮している。下駄箱には名前を書き、居室には表札を出している。玄関に椅子を置き、座って靴が履けるよう配慮している。必要な方には「トイレ」「便所」と居室内に表示している。	0		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	庭に出てホームの周囲を散歩コースの一つとして楽しんでいる。プランターのお花、畑の野菜が育つ様子を感じてもらっている。	0				

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んで いきたい 項目	取り組んで いきたい 内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当 番号	
サービスの 成果に 関する 項目	90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない	2		
	91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない	1		
	92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2		
	95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	1		
	97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない	2		
	98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない	1		

大区分	中区分	番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	取り組んでいきたい項目	取り組んでいきたい内容 (既に取り組んでいることも含む)
サービスの成果に関する項目		99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	2	
		100	職員は、生き活きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	1	
		101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	2	
		102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族と 家族等の2/3くらいと 家族等の1/3くらいと ほとんどできていない	2	
サービスの成果に関する項目				取り組みの成果 (該当番号を該当番号欄に入力すること)	該当番号	

サービスの成果に関する項目の該当番号は、選択肢の該当番号を示します。

番号の上位は自己評価の項目番号を指します。外部評価項目は、番号欄に網掛けをして外部評価と表示し、外部評価の項目番号を下に表記しています。

項目の横の重点は、外部評価の調査結果で重点項目として概要表に記載される項目です。

また追加は、福岡県が国の参考例に自己評価から外部評価に加えたり、新たに自己評価も含めて独自に追加した項目などです。